

敬老年金制度  
全国にさきがけ  
おし頂く年金証書  
—聞えない耳にかすむ目—



敬老年金制度  
全国にさきがけ  
おし頂く年金証書  
—聞えない耳にかすむ目—



毎週金曜日  
16回免行  
所役行俊明文  
行市兼印  
大分編集所  
印

放送市政  
才大分六〇キロサ  
イクルに、お廻し下  
度の更に／＼に発展充実すること  
を皆さんと共に測りたいのです  
非この制度の該当者は申請しな  
ければなりませんので、この年令  
に達した場合は直に最寄りの民生  
委員か社会課まで御相談願います  
(写真は敬老年金証書を手にした  
下白木淵野奥太郎さん)

太分縣ではこのたゞ敬老年金制  
度を設け、縣内に五年以上引続  
て居住する九十才以上の高令者に  
年額八千円の年金第一回分を去る  
四月十五日給付した。

この日大分市の該當者は、下白  
木の淵野奥太郎(九一才)外干  
四名で、何れも元治、慶應生れの  
長寿者、然し体は頗る不自由と  
思ひ、然しあくまでも年金を受  
取るに至った。聞えぬ耳、かすむ目にお  
し頂いた証書が曲った背と共に震  
え痛々しい光景であったが、また  
同時に「ほんとに長生きしてよ  
かったねえ」という言葉があり包  
み老いの目にも、若い孫の目にも  
涙が溢れた一粒の涙が、四月の  
雰囲と共に明るかつた。

處で全国にさきがけた敬老年金  
制度も、これが全國的な関心の的  
な存在である。昨年度の三三万  
五千円に較べると、九・一%の上  
昇率と共に明るかつた。

今年も五月一日から赤募金一  
万一千円)日岡(四万八千円)は勿論、地震、火災、風水害の場  
合、罹災者の救援に當るなど、社  
会奉仕の範囲までいれると、数え  
きれない程である。

この作業日の間、皆様が大さく御  
協力下さい。

このため大分市でも次の要領で  
この運動に協力して下さい。

